

社会福祉法人萌芽の森 認定こども園 めばえ保育園 自己評価 結果公表

令和 8 年度 4月～9月における『めばえ保育園』運営について全職員による自己評価をもとに評価を行った。自己評価は 4 段階で評価し、平均したものである。

1. 本園の保育理念及び保育目標

保育理念	保育目標
こどもたちの可能性の種をまき ひとりひとりいきいきと生きる力と たくさんの『めばえ』がある保育園	・たくましくころも体も健やかな子どもの芽 ・好奇心を広げ、夢をはぐくむ子どもの芽 ・豊かな心をもつ子どもの芽

2. R8年度 重点的に取り組む目標・方向性

・事務作業の効率化	・PDCA で保育の振り返りを利用した環境づくり
-----------	--------------------------

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取組状況	評価項目	評価	取組状況
① 園の理念・目標・方針の理解と実践	B	理念を理解し、「たくさんの芽を育てる」保育実践に努めている。	⑩ 清掃・整理整頓による清潔で安全な環境	B	園全体で清掃・整理整頓に率先して取り組み、安全な環境を保っている。
② 主体的な保育の提案・主導・助言	B	子どもの「やってみよう！」を大切に、対話の場を持つことができている	⑪ ケガ・事故・感染症予防への周知と対応	A	迅速な対応と予防意識が高く、園全体での安全管理体制がしっかりと機能している。
③ 多様性の尊重と育ち合いの保育	B	一人ひとりの良さを認め、友達同士で認め合える環境づくりに努めている	⑫ 保育者としての影響力の自覚と手本となる行動	B	人間性が与える影響を自覚し、子どもたちの良き手本となるよう努めている
④ 事務作業の効率化	C	活用度に個人差がある。今後は園全体でプロンプトの型を作り、業務時間を削減する。	⑬ 時間・提出期限の厳守と責任ある業務遂行	C	期限厳守に課題がある。タスクの可視化と事務時間の確保により組織的な改善を進める。
⑤ 自身の保育への落とし込み	C	事務効率化だけでなく、目の前の子どもに合わせた保育への応用を今後強化する。	⑭ 自己研鑽（研修や勉強）を通じた保育の引き出しの拡大	B	子どもと自身のために学び、保育の質を向上させる姿勢を持っている。
⑥ PDCA による保育の振り返りと計画立案	C	振り返りの質に差があるため、今後はチェックリスト化等で負担を減らしPDCA を定着させる。	⑮ 職員間で認め合いサポートし合う風土づくり	B	日頃から話し合い、互いにサポートし合える職場の風土作りに努めている。
⑦ 子どもの理解と楽しめる環境づくり	B	子どもの状況を把握し、日々楽しめる環境の設定に努めている。	⑯ こまめな報連相とトラブル時の連携徹底	C	連携漏れを防ぐため、緊急度に応じた報告ルール（口頭・記述の使い分け）を徹底する。
⑧ 興味・発想に応じた柔軟な環境の再構成	C	スムーズな再構成に向け、良い環境の写真を共有し「型」として蓄積する取り組みを開始した。	⑰ 玄関での明るい挨拶と丁寧な保護者対応	A	明るい挨拶と保護者に寄り添った対応が徹底されており、園の信頼向上に繋がっている。
⑨ 興味・発想に応じた柔軟な環境の再構成	C	個人の気遣いに頼らず、確実な引継ぎができるよう情報伝達ルールの再構築を図る。	⑱ 文句や陰口をなくし建設的な対話を行う雰囲気づくり	B	建設的な対話を心がけ、保育を心から楽しめる雰囲気づくりに努めている。

《評価 Aよくできている Bまあまあできている Cあまりできていない Dまったくできていない》

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
・指導計画 評価・反省・振り返り	・指導計画のねらいを「観察可能な具体的な子どもの姿」に変換する（ねらいに直結した振り返り） ・口頭でその日の活動の振り返りを職員間でシェアする時間を設ける

5. 財務状況

監事より、適正に運営されていると認められている。
